

国際核融合エネルギー研究センター

International fusion Energy Research Center

<http://www.jaea.go.jp/04/aomori/index.htm>

見学時間の目安
約45分

見学案内
有

予約
要

核融合エネルギーの早期実現を目指して、フランスに建設中の実験炉ITERへの支援とITERの次の発電実証を行う原型炉にむけた、先進的な核融合研究開発を行う「幅広いアプローチ(BA)活動」の拠点となる施設です。ここでは、ITERの遠隔実験をはじめ、核融合計算機シミュレーション研究、原型炉の概念設計などが行われるとともに、国際核融合材料照射施設(IFMIF)の工学実証・工学設計活動が行われます。これらのプロジェクトは日本と欧州の国際協力の下で進められています。

This Center supports the International Thermonuclear Experimental Reactor (ITER) that is under construction in France aiming at early realization of nuclear fusion energy. The Center, also, performs advanced R&D on nuclear fusion for the next ITER's prototype reactor demonstration. It is the base for "Broad Approach (BA) Activities". The Center conducts nuclear fusion computation simulation research, conceptual design of prototype nuclear reactors, etc. including remote ITER experiments. Further, the Center performs engineering demonstrations and engineering design activities for the International Fusion Material Irradiation Facility (IFMIF). These projects are promoted under international cooperation of Europe and Japan.



フランス・カダラッシュにある国際熱核融合実験炉ITERの模型。ここ六ヶ所の研究センターとフランスを高速ネットワークで接続し遠隔実験を行います。



世界最高レベルのスーパーコンピューターが導入される予定の計算機・遠隔実験棟。

見学ポイント



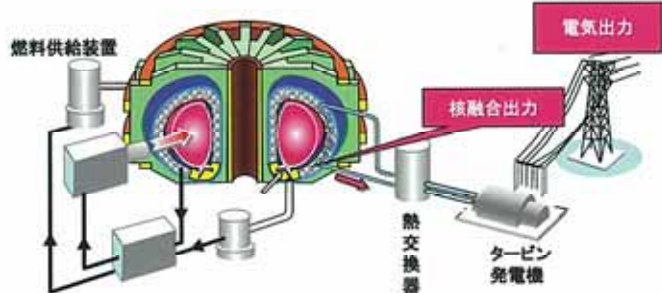
このセンターは、太陽や恒星のような核融合エネルギーを地上で実現しようという壮大なプロジェクト基地です。次世代エネルギーとしての重要な役割を担うだけに世界中から注目されています。一般から専門家まで、見学する対象に合わせて対応可能です。



原型炉の概念設計や必要な材料等の研究をする「原型炉R&D棟」。



欧州と日本の専門家が集結し、準備をすすめるIFMIF/EVEDA開発試験棟。



核融合原型炉における発電のイメージ図です。

国際核融合エネルギー研究センター

- 見学問合せ窓口／(独)日本原子力研究開発機構 青森研究開発センター
- 住所／〒039-3212 青森県上北郡六ヶ所村大字尾敷字表館2番166
- TEL／0175-71-6500 ●FAX／0175-71-6501
- 開館時間／10時00分～16時00分
- 休館日／土日祝祭日、年末年始、創立記念日
- 交通手段／JR野辺地駅より車で約40分、JR三沢駅より車で約50分
- 見学受け入れ人数の目安／約50人/回(個人見学可)
- 見学者対象の目安／学生、一般(団体可)
- 駐車場／有(団体バス用有)



「この国際核融合エネルギー研究センターは、平成22年度から研究活動が本格化します。世界最先端の研究について最新の情報を分かりやすくご説明できればと考えています」と総務課の菊池さん。

